

Ⅲ 鍋釜関係 (塩釜や鍋の注文、売買関係など)		11件11点					
No	年代 (年・月・日)	名称 (表題)	差出(作成者)	受取	形態	法量 (縦×横cm)	備考
1	文化 14(1817)・5・?	(鍋指引書出帳)	鋳物師 高守久右衛門		横帳	33.8×12.5	シミ、コゲ。10丁。「ふく井(福井)」「ツるか(敦賀)」などへの業者への鍋釜販売簿。
2	?・?・?	鍋指引帳			横帳	34.5×13.0	シミ。5丁。「大正(聖)寺」「小松」などの業者への鍋釜販売簿。
3	?(卯)・4・5	金銭差引断簡(覚)			半切紙	14.5×28.0	後欠。宿紙。塩釜3枚型手間賃など。
4	文化3(1806)・ 8・8	鍋上り物に付取決証文(覚)	釜屋 四郎右衛門 他4名	金屋町 町頭衆中 鋳物師中	継紙	24.0×46.7	虫損、シミ。1吹に鍋1升ずつの上り物(税)と、その値段を100文ずつに仲間で取り決めた旨。
5	?(巳)・1・26	鋤仕送りに付一札(請合之事)	かまや善次郎	釜屋久右衛門	切紙	20.7×18.3	少虫。「鋳物師一巻入」の包紙内にあり。喜三郎へ仕送り。
6	?(午)・2・?	境町へ貸塩釜代銀支払願書 (書附を以奉願上候)	高岡釜屋 久右衛門	境町肝煎 三郎兵衛 他3名	縦紙	24.5×31.6	少虫。新川郡境町は現在の富山県朝日町。
7	?・?・?	境町へ貸塩釜代値上に付願書控	(高岡釜屋久右衛門)		縦紙	24.5×35.4	少虫。「越中境」へ塩釜を貸していたが、最近の物価高により値上げを申し出たが断られ、貸し釜を止めたなど。
8	?(巳)・4・?	堺浜へ貸塩釜代値上に付願書案	釜屋 久右衛門	高岡町 御会所	継紙	23.8×151.2	少虫。上々及び上記の関連。文末に肝煎・源三郎も併せて願い出ている。ウワ書「下物 金屋町釜久」。
9	?(午)・1・?	塩釜宿請縮書	境釜才許人 林間兵衛	釜屋 久右衛門	継紙	24.5×39.7	虫損。以前は塩土(土?)塩釜の宿は(おそらく高岡金屋町の)弥右衛門が担当していたが、その跡は久右衛門が引き継ぐことを確認している。境町肝煎の三郎兵衛・清左衛門の奥書あり。
10	天保3(1832)・ 2・?	諸色高値につき塩釜値上願書 (小紙を以御願申上候)	高岡鋳物師 久右衛門	川口 弥三左衛門、 東方 権左衛門、 柴野 義一郎	継紙	18.3×72.2	虫損。諸色のみならず、深い塩釜から浅釜変わったので、多くの職人が必要であり、また原料の古銑や燃料の炭も値上げされたので、非常に経営が苦しい。従来釜1枚銀41匁から25匁の値上げを認めてほしい。
11	?(辰)・2・?	塩釜新鑄につき奉行へ上申願状 (口上書を以御願申上候)	高岡鋳物師 久右衛門	渡辺 久作	継紙	16.1×120.1	虫損甚だし、シミ。近年は釜数も減り、また銑や炭、諸色高値であるのに、貸釜の内損じて鑄造する必要のある7枚の釜も出てきた。貸釜代金を年1両値上げさせてほしい。